

Press Release

2021年3月25日

## DMG MORI 2021 年 全世界でカーボンニュートラル達成

DMG MORI(以下、当社)は、持続可能な社会を目指し、脱炭素社会や資源循環型の社会に向けた取り組みを行っています。2021年、当社はグローバルで生産する全商品の部品調達から商品出荷までの工程<sup>\*1</sup>においてカーボンニュートラルを達成しました。さらに、2022年にはサプライチェーン全体でのカーボンニュートラル達成を目指します。

当社は2001年度からISO14001に準拠した環境マネジメントシステムを取得し、工場内の環境保全に努め、太陽光発電設備の導入や照明の低消費電力・長寿命LEDへの取り換え、先進的な暖房・換気・冷房システムの採用など、あらゆる面でCO<sub>2</sub>排出量削減に取り組んでまいりました。

日本国内拠点においては、すでに2020年4月より東京グローバルヘッドクォーターにてCO<sub>2</sub>フリー電力の購入を開始していますが、さらに2021年4月から当社最大の生産拠点である伊賀事業所と名古屋において、CO<sub>2</sub>フリー電力に切り替えます。また、2021年秋頃には、当社伊賀事業所構内にCO<sub>2</sub>排出量実質ゼロの木質バイオマス熱電供給システムを設置予定です。

そもそも、工作機械業界はCO<sub>2</sub>排出が少ないクリーンな業界です。部品調達から商品出荷までのCO<sub>2</sub>排出量全体の内、調達部品による排出が70%以上を占め、当社による直接排出は約7%(2020年)です。実際のCO<sub>2</sub>排出量削減への取り組みを加速する一方で、自社の活動により削減できないCO<sub>2</sub>排出量に関して、国際的に認定された持続可能な気候保護プロジェクトへ出資することでオフセットいたします。

2020年、欧州を拠点とするDMG MORI AGにおいてカーボンニュートラルを達成しました。2021年からはグループ全体に取り組みを広げ、ブラジルの水力発電やインドの太陽光発電などのプロジェクトへ出資し、2021年CO<sub>2</sub>予想排出量<sup>\*2</sup>をオフセットすることにより、グループ全体でカーボンニュートラルを達成しました。当社のCO<sub>2</sub>排出量算定とオフセット処理につきましては、第三者機関の独立監査人であるPricewaterhouseCoopers GmbH社の監査を受け、同社より保証を得ました。2021年1月から出荷している全世界の当社機にはカーボンニュートラルな体制で生産された商品を表す「GREENMACHINE(グリーンマシン)」マークが付いています。

現在、世界中で約30万台以上の工作機械が稼働しており、工作機械の省エネは地球環境に大きな影響を与えます。当社は長年にわたって工作機械のエネルギー効率を最適化し、加工条件の向上や、加工時間の最短化を行うことで環境に配慮した商品を開発、普及することにより、お客様の施設において最先端のエネルギー効率を実現できるようサポートしてまいりました。当社は風力・水力発電などの再生可能エネルギーの開発や

燃料電池、e-モビリティなどグリーンテクノロジー製品の部品を生み出す高い技術と豊富な経験をもっており、事業活動を加速させることが CSR および ESG への取り組みにつながります。

当社は 2030 年までに、2019 年度比で機械 1 台当たりの CO<sub>2</sub> 排出量の 30%削減を目標に掲げています。自組織での CO<sub>2</sub> 削減の活動に加え、環境に配慮した商品の提供を通じて、お客様における CO<sub>2</sub> 排出量の削減にも貢献します。グループ一丸となってカーボンニュートラルの取り組みを加速し、社会に貢献してまいります。

\*1 Scope1、Scope2、Scope3 の上流工程(カテゴリー1、3、4、5、6、7)

当社の CO<sub>2</sub> 排出量の計算および報告は、「世界資源研究所(World Resources Institute, WRI)」および、「持続可能な開発のための世界経済人会議(World Business Council for Sustainable Development, WBCSD)」のグリーンハウスガスプロトコル(GHG プロトコル)の指針に基づく。

Scope 3 カテゴリー2(資本財)は総排出量の大部分を占めないため、含まれない。カテゴリー8(リース資産上流)は Scope1、2 に含まれる。

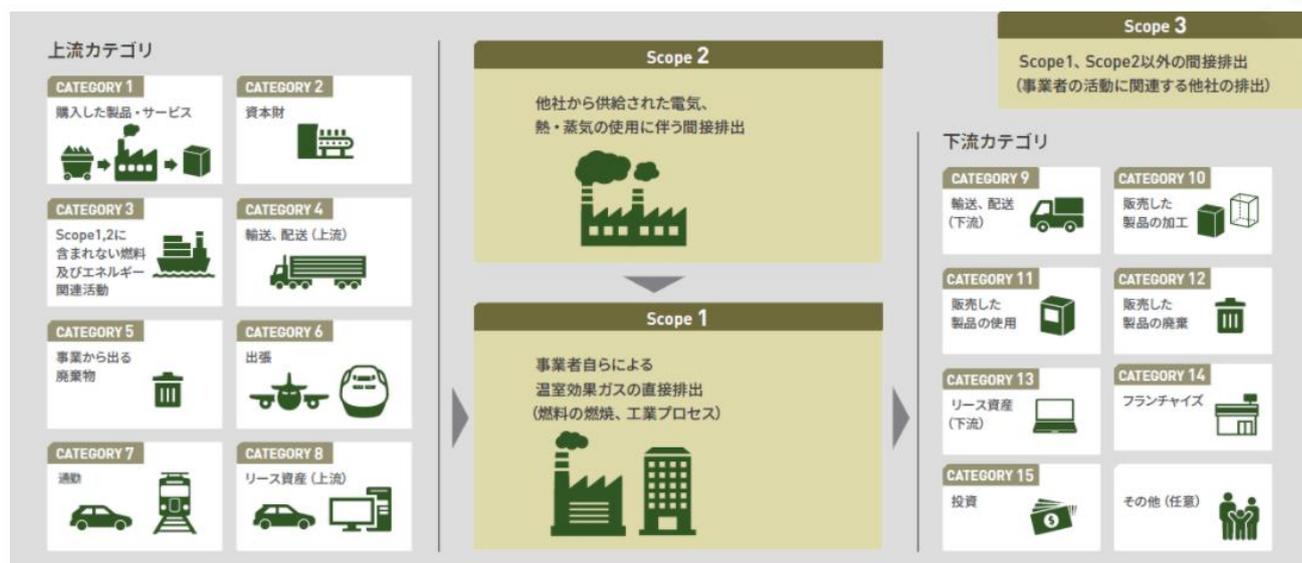
\*2 2020 年の排出量を参考に、自社の活動による削減見込みや市場動向、受注状況を考慮して算出。2021 年終了後、CO<sub>2</sub> 排出量を算出した結果、予測を超える場合は当該分のオフセットを実施し、2021 年は常にカーボンニュートラルの状態を維持する。

◆当社のサステナビリティへの取り組みについて、当社 Web サイトにて詳しくご紹介しています。

<https://www.dmgmori.co.jp/corporate/sustainability/index.html>



DMG MORI 2021 年 全世界でカーボンニュートラル達成



サプライチェーン排出量における Scope の区分 (GHG プロトコル)

以上